

酒々井町

郷土研究会会報

第139号

平成23年1月1日

酒々井町郷土研究会

広報部

平成二十三年を迎えて

会長 岡田 利光

新年を迎えおめでとうございます。会員の皆様には、ご健勝でよいお年をお迎えになつたことと存じます。昨夏はとにかく暑くて三十五度以上の日が二十五日も続き、体調維持が大変だったことと思います。本年は明るいおだやかな年であることを期待します。

郷土研究会は昭和五十二年発足以来三十五年目を迎えました。郷土の歴史・史跡・地理・自然を学びながら会員相互の親睦と理解を深めてまいりましたが、今年は節目の年でもありますので、知る・理解を深めるから一歩前進して、テーマをとらえて検討を加え、郷土の皆様に昔日の酒々井をご披露したいと考えております。

このほか例年開催している行事や、

名勝探訪、ガイド付き史跡めぐりなどを、思い出の残るような場所を選んで行きますので、お友達をお誘いの上ご参加下さるようお願い申し上げます。

終りにのぞみ、皆様のご多幸を祈念申し上げます。

謹賀新年

辛卯元旦

年頭所感

酒々井町長 小坂 泰久

新年あけましておめでとうございます。

酒々井町郷土研究会の皆様には、

町の郷土史の研究活動のみならず、文化財の保護・普及や「歴史のまち酒々井」のPR活動などに御尽力をいただきまして、心から御礼を申し上げます。年頭に当たりまして一言御挨拶申し上げます。

さて、郷土研究会におかれましては、百六十名を超える多くの会員を有し、講座学習会、研修見学会、野草の会など独創的で、そしていつも活力に満ちた活動をされており、また、展示会の開催、すい学・野草観察教室への講師の派遣など、社会教育事業にも御尽力いただいております。更には、毎年開催しております酒々井町史跡ウォーキングのガイドをしていただくなど、この事業の中心的な役割を担っていただいております。このような活動を通じまして、今後も、郷土研究会と町が協働で、町の歴史・町の文化財について考え、町民の「心を豊かにする」活動を続けていければと思っております。

むすびに、これからの郷土研究会の更なる発展を祈念いたしました、新年の御挨拶とさせていただきます。

本佐倉城周辺の野草(一)

大沢 博

私達野草部は、四年前の平成十九年一月から十二月までの一年間にわたり、本佐倉城跡とその周辺の野草類の生育状況について調査を実施しました。今後の資料としてまとめましたが、散策時の参考になればと思います。概要について紹介します。

【一月〜二月】

厳冬の草花は何といっても春の七草だろうと思います。この周辺でもカブとダイコンを除けばすべて摘むことができず。二月十日(木)に行われる恒例の「七草粥を食べる会」に参加いただければ更に理解が深まることと思います。

二月になると倉址や東山馬場の梅林が、真っ白な花を咲かせます。また、付近の水田の畦道や東光寺ビヨウの土手などには小さなフキノトウが見られます。

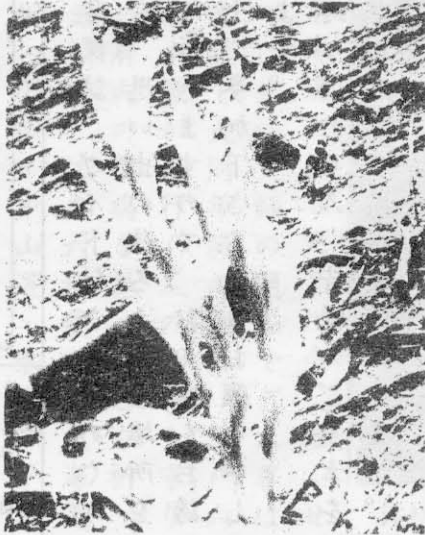
【三月〜四月】

この時期は草花や木の芽が出始める季節です。城跡の土手に自生するキブシの花穂の垂れ下がり、春の

訪れを感じます。

三月も末になると周辺の畦道などには、ツクシやカラスノエンドウ、セイヨウタンポポの花も見られるようになり一段と春らしくなります。四月には城跡周辺にもサクラやコブシの花が満開になり、城跡のいたるところに草花が咲き乱れるようになって、春の白いを体全体で感じる事ができます。

花の色もこの周辺では黄色が目立ち、キンランをはじめカタバミ、クサノオウ、イヌガラシ、カントウタンポポ、ヘビイチゴなどの黄色い



「キンラン」

黄色い花の代表で名前の由来も鮮やかな黄色からきている。最近、野生のものは少なくなった。

花々が咲き乱れます。なかでもキンランは県の保護種に指定されており、大切にしたい植物です。

また、下野橋から勝蔵院に向かう坂道付近には、ニリンソウやタニギキョウの小さな白い花の群生を見る事ができます。

【五月〜六月】

初夏、新緑の若葉が映えて素晴らしい光景が目に入る季節です。城山の急斜面の土手には藤の花が、そして城跡周辺の水辺にはハナシヨウブ、カキツバタ、オランダカイウ(カラト)などの色とりどりの花は心が和みます。また、東光寺ビヨウにはヒエガエリやアオカモシグサなどのイネ科の植物が隙間なく密生状態です。一方、田んぼの畦道にはヤセウツボやアカバナユウゲショウなども見られるのもこの時期です。

梅雨の季節になると、アジサイやナガミヒナゲシ(虞美人草)、ウツギなど園芸種の花が多彩な色取りをみせます。その他、ウメガサソウやイチヤクソウ、ホタルブクロなど風情のある可愛い花が咲くのもこの時期です。(以下次号)

秋の野草観察

林 洋子

台風一過の澄み切った晴天に恵まれた九月九日秋の野草観察会に参加させていただきました。

自分の体温をはるかに超え、記録的な猛暑が一ヶ月以上も続き、熱中症で大きな話題となっていた昨今でしたが、当日は時折秋を感じさせるような涼風が、私達を野草の世界に誘ってくれているかのようでした。

菊賀神社周辺へ何度も下見に行き準備してくださったコースには、何とも言えない可憐な花をつけたヒレタゴボウ、チョウジタデ、ホソバヒメミソハギ・・・等と出会いました。

区別のつかない良く似た花を、花弁の数・葉の出方・形等々注意深い観察力が要求されました。

それにしても、ヌスビトハギは、抜き足差し足忍び足を意味していたり、ツユクサを現在過去未来と見たつりたりと、花の由来やエピソードをつけ加え説明してくださり頭が下がりました。

今までさりげなく見ていた花を、センニチソウと知りました。秋には

仙人のひげの形が見られると説明を受け、改めて今の姿をカメラに納めてきました。秋が楽しみです。足もとには、エノコログサが生えており幼いころを思い出しました。

閑宿方面を訪ねて

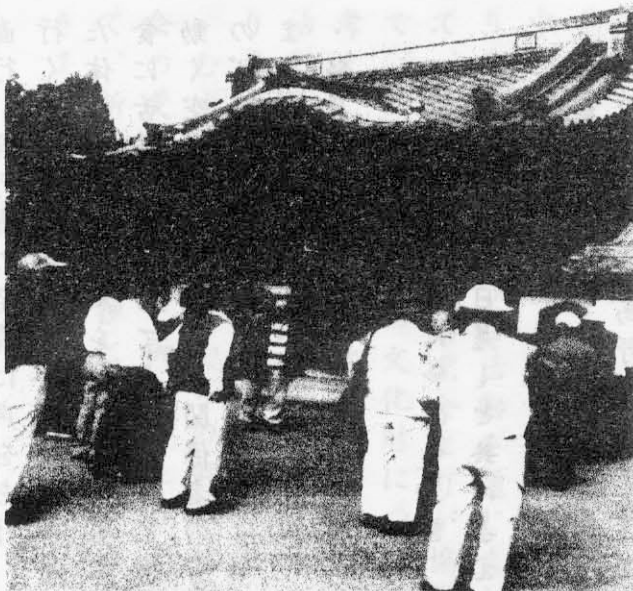
内村 千代美

十月六日今日の見学会は千葉県の北に突き出た先端に位置する閑宿です。町バスで目指すは閑宿城博物館。参加者は募集人数よりちょっと少ない二十三名。閑宿は利根川・江戸川の分流地点でもあり、閑東の水運を押さえる要地ゆえ閑宿を支配することは一國を支配することと同じと云われた土地だそうです。

本佐倉城と同じ頃築城された閑宿城は現在の形とは違いますが今は三階までが展示室。私はあまり興味なかったのですが見て四階展望室へ。薄曇のため残念ながら富士山、スカイツリーは見えませんでした。筑波山はうっすらと見え満足しました。次は鈴木貫太郎記念館へ。終戦時の首相として活躍した千葉県出身の唯一の総理大臣です。この記念館と実相寺を説明してくれたガイドの山

本さんは、思わず「座布団一枚！」と掛け声がかかりそうなくらいユーモアがありました。なお実相寺は寺の多い閑宿でも一番立派な山門があり、別名ぼたん寺とも云われるそうです。この寺には閑宿城主久世家代々の位牌を安置しているのですが、今回は見学できませんでした。しかし、鈴木貫太郎のお墓にはお参りしてきました。

以上で帰路につき無事酒々井に着し楽しい一日を過ごせました。計画を立ててくださった役員さんに感謝したいと思います。



実相寺でガイドの説明に聞き入る会員

品川宿を歩く

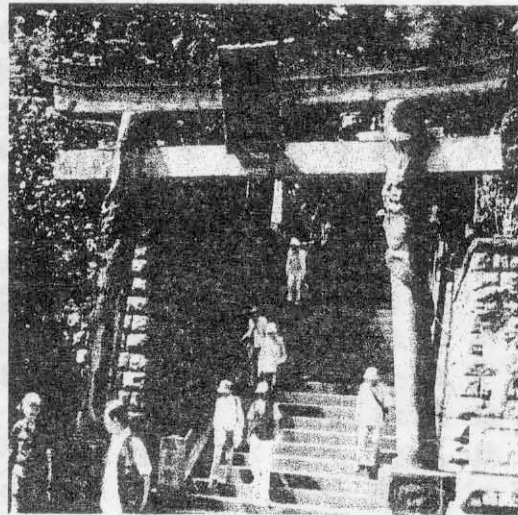
正井 和子

土も水も煮え立つ様な暑熱を一掃した前日の雨と風、それが幻かと思ふような今朝のお天気。三十五名で出発。京急の新馬場駅で下車、こんな駅で下車した事もない所です。歩き始めて品川宿の入り口にある品川神社へ。品川の鎮守様で源頼朝が文治三年(一一八七)に建立した。五十三段の石段と昇り竜・下り竜の彫刻のある石造りの大鳥居を潜り、鎖を伝って富士塚の頂上へ。皆さん品川宿を一望してご満悦。私は年で一寸ご遠慮。境内には三代徳川家光の時代、佐倉藩主の堀田正盛寄進による都内で二番目に古い石鳥居を潜って参拝し、無事探訪を祈願し品川宿へ向かう。

町人・武士・大名行列の毛槍が往來した東海道を歩きます。昔ながらのお店があり、下駄の丸屋さんではご主人手作りの下駄が並び、職人さんの伝統の技が並んでいる。慶応元年創業のお店は軒が深く窓障子に時代が宿る着物姿の奥様が帳場によく合っていました。

畳屋さんも昔のまままで二台あった

仕事台の奥から煙管片手にねじり鉢巻に半纏姿の親方の「てやがんでえ」と巻き舌の江戸弁が聞こえそうな店構え。本陣跡の碑もあり現代の中に過ぎし時代を垣間見る事の出来る品川はおっとりとした街である。



昇り竜と下り竜の彫刻のある大鳥居

東海道に面した品川寺(ほんせんじ)は弘法大師の開山でご本尊は観世菩薩で大同年間の創立。江戸六地蔵の坐像が道行く人の無事を守り、江戸府内の疫病を払うことを祈っていました。江戸六地蔵とは東海道・奥州・甲州・中山道・水戸・千葉の六街道の入口で、鎮護したお地蔵様の事だそうです。境内の大銀杏は樹齢六百年で品川の銘木だそうです。次は時代の先端を行く羽田空港へ。搭乗予定の無い我々は展望デッキへ

直行。飛行機の発着に声をあげ、沖行く船に旅情をかきたて、歩き疲れた体に心地よい風を受け、待望の昼食に舌鼓。満腹して大勢の人と物が動く空港にさよなら。関係者の皆様のご苦勞に感謝しながら帰路につきました。皆様ありがとうございました。銀翼をきらっとさせて秋日和

・み仏は道行く人にやはらぎを
秋の日差しと共に与えむ

観察メモ

野草部

コウヤボウキ(高野箒)キク科

本州の関東以西の日当りのよい山地に自生する小低木。晩秋の上岩橋の谷津の観察で久しぶりに「コウヤボウキ」と出会いました。高野山の僧達がこれを刈り取って箒を作ったことから「高野箒」と名がついたといわれています。細い針金状の枝は束ねればきつと良い箒になりそうです。秋色の草むらに見つけた、薄いピンクの花をつけた一枝でした。



見学案内



日帰り見学会

周辺を歩こう

一月二十四日(月)

雨天代替日 一月二十六日(水)

桜餅で人気のある長命寺で弁財天にお参りして、さらに進むと布袋尊をおまつりした弘福寺へ、ここには咳や風邪を治すとして信仰を集めている「爺婆像」があります。

川浴いをさらに進むと、恵比寿・大黒天をおまつりした三囲神社へ、ここには俳人其角「雨乞いの句碑」など沢山の石碑がならんでいます。

団子で有名な言問橋を渡って隅田公園へ。この辺りは、文化・文政の頃から向島の桜並木として親しまれた所です。結びに浅草寺の観音様にお参りして自由昼食とします。

名勝探訪

常陸一の宮「鹿島神宮方面」

三月二十二日(火)

雨天代替日 三月二十五日(金)

JR酒々井駅から乗車し、水郷地

帯の高架が続く鹿島神宮駅に到着、駅から徒歩一〇分の鹿島神宮は鹿島市にある神社で、常陸国一の宮で旧社格は官幣大社です。

日本全国に約六〇〇社ある鹿島神宮の総本社です。神宮には鹿園があり神の使いとして親しまれています。

鹿の枝角を英語で「アントラー」と言い、「鹿島アントラーズ」のチームの由来ともなっています。要石や「日本三大楼門」に数えられる楼門などを見学致します。

その後、国指定重要伝統的建造物群保存地区として利根川の舟運で栄えた商都佐原に引き返して昼食ののち、帰途につきます。

計報

元監事の斎藤ヨシ氏には十月五日ご逝去されました。(享年八五才) 承らく郷土研究会の運営にご尽力いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

あとがき

清々しい新年を迎えられたことと思います。本年は郷土研究会が発足して三十五年という記念の年です。会員相互のパイプ役を果す会報も一三九号を数え、無事皆様にお届けすることができました。

今後とも楽しい学習の場になればと思いますので、積極的な寄稿をお願い致します。

郷土研日誌

月日	内容	参加者
9・26	会報印刷	5
9・29	会報発送	18
10・2	史談会	19
10・6	日帰り見学会「関宿方面」	23
10・7	「野草観察教室」講師派遣	2
10・16	「酒々井を知ろう」講師派遣	3
10・24	史跡ウォーキングガイド派遣	7
11・16	研修部会	7
11・20	「酒々井を知ろう」講師派遣	3
11・24	名勝探訪下見(中山方面)	4
11・30	運営委員会	16
12・1	名勝探訪「中山方面」	34
12・3	会報編集	4
12・4	史談会	16
12・7	会報編集	6
12・11	県郷土史研発表会「本佐倉城跡」	3
12・14	会報校正	6
12・18	「酒々井を知ろう」講師派遣	3
12・19	会報校正	6
12・21	会報校正	6
12・21	七草粥献立会議	3

関宿方面収支報告

平成22年10月6日(水) 23名

収入 @1,300×27名=35,100

支出 昼食代 21,600

保険 2,322

その他 4,980

返金 @500×4名=2,000

計 30,902

残 4,198円 研修部へ

	1 月	2 月	3 月
史談会	休 講	5日(土) 13:30 中央公民館会議室 「成田参詣記」⑫ 講師:高橋健一先生	5日(土) 13:30 中央公民館会議室 「成田参詣記」⑬ 講師:高橋健一先生
日帰り 見学会	初詣「スカイツリーの周辺を歩こう」 1月24日(月) 雨天代替日 1月26日(水) 問合せ 岡田()まで 集合時刻・場所 8:30 京成酒々井駅・改札口 参加費 100円 別途交通費等各自負担です。 コース 京成酒々井駅—関屋駅…東武牛田駅—東向島駅…長命寺(弁財天)… …弘福寺(布袋尊)… ^{みめぐり} 三囲神社(恵比寿・大黒天)…隅田公園…浅草寺 13:00 頃解散 自由昼食 (場合によりコースに変更あり)		
野草の会	「七草粥を食べる会」 2月10日(木) 会場 中央公民館講堂 受付 11:00 会食 11:30 会費 800円 申込受付 参加ご希望の方は最寄の運営委員にお申込み下さい。 総会日(1月30日)にも受け付けます。 当日お手伝いをしてくださる方は9:00 頃中央公民館調理室において下さい。 問合せ 犬島()まで		
名勝探訪	常陸一の宮「鹿島神宮方面」 3月22日(火) 雨天代替日 3月25日(金) 問合せ 寺本()まで 集合時刻・場所 8:30 JR酒々井駅・改札口 参加費 100円 別途交通費等各自負担です。 コース JR酒々井駅—鹿島神宮駅…鹿島神宮…鹿島神宮駅—佐原駅… …散策・自由昼食…佐原駅—JR酒々井駅 佐原駅で解散 (場合によりコースに変更あり) 強風の場合中止もあります。		
定期総会	第35回 定期総会 1月30日(日) 中央公民館2階研修室 受付:1階ロビー 13:00 開会13:30 年会費1,000円をご用意ください。 議題 <ul style="list-style-type: none"> ● 平成22年度事業報告および決算の承認について ● 平成23年度事業計画案および予算案について ● 役員改選について ● その他 		